



学校教育目標『つながる 続ける 創り出す』

令和4年9月22日

横浜市立三ツ境小学校

学校長 遠山 松雄



三ツ境小だより 10月号



アップデートの三ツ境小学校

副校長 矢島 祥子

秋空が青く澄みわたり、秋の訪れを感じる季節となりました。緑遊会の方にご指導をいただきながら5年生が育てている稲が黄金色になり、稲穂がこうべを垂れています。実りの秋を迎え、間もなく稲刈りを行う予定です。

コロナ禍に見舞われて3度目の秋を迎えました。依然として、誰がいつどこで感染するか分からない状況が続いており、感染症防止対策について試行錯誤しながら教育活動を継続しています。そのようななか、9月10日には出席番号による分散というかたちで、土曜参観を行いました。多くの保護者の皆さまにご参観いただき、ありがとうございました。後期には、4年生・5年生の宿泊体験学習、1～3年生・6年生の校外学習を予定しています。感染症防止対策に留意しながら、子ども達の達成感や成長につながる行事になるよう、準備をすすめてまいります。

さて、私が三ツ境小学校に着任して半年が経ちました。「三ツ境小学校って素敵だな」と感じていることのひとつを紹介します。三ツ境小学校では、職員がタブレット端末を有効に活用した授業を行おうと努め、児童がタブレット端末を意欲的に使って学習に取り組んでいる姿が見られます。GIGA スクール構想のもと、昨年度は児童の「1人1台」端末の環境整備がすすめられました。三ツ境小学校では、昨年度6月のGIGA 開き、9月の分散登校時のオンライン学習から取組を始めました。今では、子どもたちは、カメラ機能を使って図工の作品や理科の植物・生き物などの写真を撮って即時に情報を収集・記録したり、学習ドリルアプリで計算練習やキーボード入力練習をしたり、ロイロノート・スクールのカードに自分の考えや振り返りなどを入力して提出したりしています。また、高学年になると、教科書のQRコードを読み取って家庭科の野菜の切り方やミシンの使い方を動画で確認したり、放送委員会の児童がクイズの問題と答えを作成して昼の放送で流したりしています。その他にも様々な教科・領域においてタブレット端末を使用しています。さらに6年生は、タブレット端末を使った方がよい場面についても考え、活用の場面を自分で選択することもしています。

夏休みに、シンキングツール（思考ツール）を使ってグループワークで話し合った内容をまとめる方法や、共有ノートを使って共同編集したりする方法について、さらなる活用のために職員研修を行いました。決してICTに詳しい職員ばかりではありませんが、「タブレット端末をもっと活用できないか」「どうしたら子どもたちがもっと楽しく学習できるか」と、教育の在り方を日々アップデートしています。

タブレット端末の使用については、安全かつ適切に使うための情報モラルなどのルール作りについても啓発を行っています。まずは、子どもたちが関わる人や周りの人を思いやる心をもつこと、相手の気持ちを理解できるようになることが必要です。今後も、タブレット端末を便利な一つの学用品として使い、教育的効果が得られるよう、教育活動をすすめていきたいと思えます。

保護者の皆様には、毎朝のロイロノート・スクールでの健康観察にご協力いただきありがとうございます。引き続き、本校の教育活動へのご理解ご協力よろしくお願ひいたします。

専任 吉田より

最近、「寄り添う」ことはどういうことか、とよく考えます。子どもたちに寄り添うことは子どもたちの思いを実現することなのではないでしょうか。それとも、教師が子どもたちを導くべき方向に向かうよう支援・指導していくことなのではないでしょうか。または、保護者の思いを受け止め、そこに向かっていくよう行動することなのではないでしょうか。

児童支援専任という立場で子どもたちやその保護者の方とかかわる中で大切にしていることは、合意形成を図る、ということです。上に挙げたように、三者それぞれの思いを大切にしながら、同じ方向に向かって進むことができるよう、対話を通してお互いの思いを知り、協力して子どもたちへの声かけや支援を継続していくことを大事にしています。それが「寄り添う」ことではないかと考えます。

子どもたちには、自分で考え、決定し、行動していくパワーがあります。それを引き出すことができるよう、寄り添い方や支援の在り方を見直しながら、日々試行錯誤をしているところです。学校でしかできないこと、家庭でしかできないこと、学校と家庭の双方で行うべきこと、それぞれを理解した上で子どもたちにかかわり、周囲の大人が協力して子どもたちのよりよい学びや育ちにつなげていくことができるよう、今後も保護者の皆様との情報交換を大切にしていきたいと考えています。

【地域学校協働本部について】

地域と学校を結ぶ学校・地域コーディネーターのお二人を中心に運営される組織で、幅広く地域と学校が連携・協働できるように地域学校協働活動を行っています。「学校で〇〇の話をしてみたい」、「地域の人たちに〇〇で協力してほしい」といった、地域の方や学校からの声をもとに地域と学校を結び付けるために活動しています。

今回、配付（回覧）しました地域学校協働本部からのおたよりをお読みいただき、ぜひ活動に参加してみようという方は、ボランティアへの登録をお願いします。